

テレビカメラと共に水に潜って知った世界の海と人々

# おしゃべりサロン「相互塾」

(第65回) <入場無料>



老いも若きも大歓迎。Face to Face を大切に！

## 世界の海を潜って40年 ～海の魅力と、人々の海との関わり～

日 時：平成17年6月27日（月） 午後7時～9時

場 所：調布市総合福祉センター 4階 視聴覚室（グリーンホール南隣）

語り手：木原英雄さん NHKテレビカメラマン

5月の連休を前に噴火から4年、島民の復帰が始まった三宅島に潜りました。土流の影響が心配されていましたが、それは本当に美しい亜熱帯の海でした。観光のダイバーたちも連休中は大勢訪れ、島の人たちも一安心と言ったところでした。仕事で潜水撮影を行うようになってから40年、世界そして日本の海に潜り続けて来ました。

潜水撮影を始めた40年前は、まだスキューバーも世間に普及しておらず黒いスーツを着て海に潜ると、漁師からアワビかサザエの密漁と間違えられて追っかけられたものです。この頃、羽田沖の東京湾や松山沖の瀬戸内海で全日空機が相次いで墜落し、多数の犠牲者が出ました。この時スクープ映像で、TVの画面に墜落した飛行機の海底での姿が写ったのです。これをきっかけに潜水撮影の仕事に興味を持ち厳しい訓練を受け続けました。

その後、事件取材での潜水撮影ばかりではなく、世界の海の風景や海と関わる人々の営みなども取材対象に加わり、文字どおり40年海に潜り続けています。

フロリダの地下大水脈、高地チベットの湖、真っ暗な洞窟での潜水、撮影車が現地住民に拉致、やらせの話題、などをお話した後、安全に潜るにはどうしたらよいか、日本の何処の海が素晴らしいのか、潜水を始めるには何が必要なのか時間が許す限りお話したいと考えております。



【終了後懇親会(参加自由、実費2千円前後)を行います】

主 催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL & FAX 83-9993)

E-mail [mmanob@sepia.ocn.ne.jp](mailto:mmanob@sepia.ocn.ne.jp)

(ウラへ続く)